

千葉県立鶴舞看護専門学校 学校関係者評価実施報告

千葉県立鶴舞看護専門学校では、「令和2年度自己点検・自己評価結果概要」をもとに、学校関係者評価を実施したので、以下のとおり報告します。

1 実施年月日

令和2年11月11日（水）～令和3年1月22日（金）書面開催による。

2 学校関係者評価会議出席者

近隣教育機関、近隣保健医療施設、実習施設、有識者（非常勤講師）、看護職能団体、卒業生に評価を依頼しました。

3 実施内容

事業概要、自己点検評価の結果説明、今年度の取り組みを報告し、質疑応答や意見交換を行いました。

《今年度の取り組み》

- ① 臨地実習における学生の安全教育、対策を強化する。
- ② 地域社会における学校のあり方や活動を検討し、貢献できる。
- ③ 卒業生の活動状況を把握し看護基礎教育に反映できる方法を検討する。
- ④ 教員が授業準備のため時間がとれる体制を検討する。

4 学校関係者評価・意見

大項目ごとの評価は、IX研究を除き適切あるいはほぼ適切との評価をいただきました。主な御意見は以下のとおりです。

大項目	主な御意見等
I 教育理念・教育目的	・人材・人財育成として適切である。 ・コロナの影響で実習が少なく、評価が難しいが実習に取り組む姿勢は良好で問題ないと思う。
II 教育目標	・教育目標(5)人々との関りをとおして…とあるが、具体的にはどのような人々なのか。学内外の人々が想定されるが、より明確な人々が表現されるとよりわかりやすいと思う。
III 教育課程	・教員の教育・研究活動の支援体制に関しては検討が必要と思われる。 ・臨地実習において臨地実習指導者の役割に関して教員がどのような点で困っているのか共有したい。 ・「教員の授業準備のための時間の確保」の低評価が目につくが、関連項目のうち前年より低下したのはそのみであり、体制整備に注力した影響と考えられるのではないかと。 ・区分が明確であり、わかりやすい教育課程だと思う。特に統合分野の設置は素晴らしいと思う。 ・授業内容の重複との整合性・発展性が明確になっているという項目のポイントがアップした。

IV 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立を促す関わり」を挙げているが、鶴舞ほど実習時に教員が病院に来る学校はない。よいことではあるが自立とのバランスを考えるとどこまで、どの程度の線引きが難しいようにも感じる。又、先生方の負担にもつながるのではないかと心配になる。
V 経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算で頑張られているのだと思う。質を担保するためには予算も必要なので学校が満足できていれば適切だと思う。
VI 入学	<ul style="list-style-type: none"> ・入学希望者の増加に向けての取り組みや工夫は素晴らしいと思う。 ・コロナの影響で次年度心配である。時代が変わっても専門学校は必要だと思うが、大学との違い、特色の打ちだしなどが必要になるか。 ・受験生、入学生の本質と量を確保するための対策を多角的に組織的に計画・実施・評価している。 ・校舎の建て替えも必要な時期か。
VII 卒業・就業・進学	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策等素晴らしい進路指導が行われていることがよくわかる。コロナ禍での指導が課題ではあると思うが、病院を支える人材の育成をお願いしたい。里帰りディの取り組みは在校生にとってもよい取り組みだと思う。 ・卒業生の活動力状況の把握、統計的整理と分析を教育へ反映させることは次年度の学生へのモチベーションアップ等に活用できるのではないか。 ・未就業その他が8名は問題
VIII 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でなかなか難しい分野であると思う。自己点検の項目にもあるように外から学内の様子がよりわかる取り組みが必要だと思う。 ・外からはなかなか内部の取り組みや良さはわからない。地域連携は可能な限り行い、教育活動は積極的に外部発信したいと考える。
IX 研究	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な課題を研究することから始めてみてはいかがでしょうか。コロナ禍での実習不足をどう補ったかなど現場としては興味がある。 ・「教員の授業準備のための時間の確保」との関係における時間的制約について考慮されるべきではないか。 ・コロナ禍では難しい面はあるかと思うが、学校の教育力を高めるうえで必不可欠だと思う。 ・教員のゆとりのなさを根本的に変える体制づくりに期待したい。
自由な御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染により、講義、演習、実習等が大変だと思います。大学では私の講義はいまだ遠隔授業です。鶴舞看護での私の講義は教室が広くとてもやりやすいです。 ・コロナウイルス感染症の影響による時間的、経済的な制約が課されたと考えられるため、点検・評価については、その点を加味したい。 ・「〇〇高等学校のみなさまへ」等の新しい取り組みを通じて同じ地区の学校として連携を深めていきたいと思う。また、貴校の先生方に本校に来ていただきお話を伺う機会なども検討したいと思う。 ・今年度の取り組みを読んで先生たちの細やかな活動がよく分かった。

5 終わりに

今後も、学校関係者評価会議を継続して開催し、学校外部からの評価をいただく機会を設けながら、学校活動全般に関する質の向上を図ってまいります。